



(仮訳)

## 生物多様性及び生態系サービスに関する 政府間科学-政策プラットフォーム (IPBES)

「社会変革評価報告書」：公正で持続可能な世界に向けた、  
生物多様性危機の根本的原因、障壁、および選択肢

「システム全体の根本的な再構成を可能にする戦略と行動」

報告書の発表予定：2024年12月18日(水) 午後1時(グリニッジ標準時)・  
午後10時(日本標準時)

「IPBES [地球規模評価](#)により、私たちの共通の開発目標は、技術、経済、社会をまたぐシステム全体の根本的な再構成を伴う社会変革を通じてのみ、達成できることが明らかになった。これを実行するには、我々の前に立ちふさがる障壁をより良く理解する必要があるが、さらに重要なのは、より公正で持続可能な世界をもたらす行動の選択肢についてより良く理解することである。」

アルン・アグラワル教授、ミシガン大学、IPBES 社会変革評価報告書共同議長

- 生物多様性危機の根本的な原因と、直接要因への影響を明らかにする
- より公正で持続可能な世界のためのビジョン、シナリオ、経路を評価・比較する
- 社会変革を妨げる最も重大な障壁を特定する
- 社会変革と公正な移行に向けて最大の可能性を有する戦略と行動を提示する
- 世界各地域の42カ国から選出された101人の著名な国際的専門家による執筆
- 7,000件の文献を基にした3年に及ぶ執筆作業、総費用150万米ドル以上
- SDGsと生物多様性のための2050年ビジョンを達成するために、政府、市民社会、先住民と地域コミュニティ、企業などによる意思決定と行動に対して情報提供する
- メディア発表予定：2024年12月18日午後1時(グリニッジ標準時)、午後10時(日本標準時)
- ソーシャルメディア：@IPBES #TransformativeChange

2024年12月18日(水)、生物多様性及び生態系サービスに関する政府間科学-政策プラットフォーム(IPBES)は、[生物多様性の損失の根本原因](#)、[社会変革の決定要因](#)、[生物多様性2050年ビジョンを達成するための選択肢に関する評価報告書](#)(別称「社会変革報告書」)を発表する予定です。

本報告書では、社会変革の決定要因、社会変革が直面する最大の障害と発生方法を評価します。また、持続可能な世界に向けた社会変革を促進、加速、維持するために実現可能な選択肢と、社会変革の世界的ビジョンを達成するためのステップを特定します。

本報告書は、IPBES 総会によって2024年12月第3週に審議および承認される予定です。IPBES 総会は約150カ国の政府を代表し、生物多様性と生態系サービスのための科学・政策面での連携強化を目指します。

本報告書は、**3年に及ぶ執筆作業と総額150万米ドル以上の費用**を要しました。ミシガン大学のアルン・アグラワル教授（インド、米国）、リオネグロ国立大学のルーカス・ガリバルディ教授（アルゼンチン）、オスロ大学のカレン・オブライエン教授（ノルウェー/米国）の3人の共同議長を筆頭に、**世界各地の42カ国から選出された101人のトップクラスの国際的専門家（12人のフェローを含む）**によって作成されました。科学論文、政府報告書、先住民と地域住民の知的財産や協議を含め、生物多様性の損失の根本原因、社会変革の決定要因、生物多様性2050年ビジョンを達成するための選択肢に関する多様な既存知識を捉えた約7,000件の文献に基づいています。

本報告書は、IPBES 総会第11回会合（#IPBES11、2024年12月10～16日）で検討されます。主要メッセージ、調査結果、選択肢に焦点を当てた「政策決定者向け要約」は、**2024年12月18日（水）午後1時（英国グリニッジ標準時）、午後2時（中央ヨーロッパ標準時）、午前8時（米国東部標準時）、午後10時（日本標準時）**に、ナミビアのウイントフックにてハイブリッド（対面およびオンライン）でメディア発表される予定です。世界のその他の時間帯については、<https://bit.ly/46dvEAZ>をご覧ください。ウェブキャストの同時配信リンク：[www.ipbes.net](http://www.ipbes.net)

メディア発表の事前登録は、10月に開始されます。メディア発表の事前登録への招待を受けるには、IPBES メディアリストに登録されていないジャーナリストや報道機関の方は、こちらからご登録ください <http://eepurl.com/hxkQgn>（メディアの方のみ）。

IPBES は、しばしば「生物多様性版の IPCC（気候変動に関する政府間パネル）」とも称されるように、意思決定者、人々や自然のために入手可能な最良の根拠を提供することを任務とするグローバルな科学政策機関です。

## 社会変革報告書が答える疑問

生物多様性の2050年ビジョン、SDGs、その他の重要なグローバル開発目標を達成する社会変革のための政策と行動に直接的な関連性を確保すべく、社会変革報告書では、以下を含む幅広い疑問に対応しています。

- 社会変革とは何か。また、生物多様性と自然の寄与の管理にどのように関係するか。
- 生物多様性の損失と劣化の間接要因及び直接要因に、社会変革がどのように関連するか。
- さまざまなグループが、持続可能な世界をどのように思い描いているか。また、それらのビジョンと彼らの根底にある価値観は、セクターやシステムを横断する社会変革にとってどのような意味を持つか。
- 社会変革を可能にし、加速するものは何か。そのような変化を妨げる障壁や課題は何か。それらは時間、規模、状況によってどのように変化する可能性があるか。また、どのように克服できるか。
- 政策立案者、意思決定者、管理者、ステークホルダー、市民、企業、組織体には、どのような選択肢と役割があるか。また、それらはどのように変化する可能性があり、どのように達成できるか。

## 社会変革報告書の構成

社会変革報告書は、**5つの章**で構成されており、報告書の主要メッセージに対する科学的根拠を提供します。各章の内容は次の通りです。

1. 社会変革とは何か、行動を起こさないことによる結果や、生産と消費システムにおける生物多様性の損失を反転させる戦略の検討

2. 持続可能な世界を思い描くために、科学と先住民の知識を倫理観や多様な世界観と統合
3. 社会変革につながる理論、枠組、歴史的事例、研究、行動の分析
4. 持続可能な世界に向けた社会変革の達成に向けた課題の克服
5. 自然と人のための持続可能な世界の実現に向けた戦略、方法、手段、選択肢、行動の統合

## 期待される効果

IPBES 社会変革報告書では、次のような効果が期待されます。

- 政策立案者や多様なステークホルダーを含む意思決定者に対して、社会変革につながる行動のための入手可能な最良の根拠、分析、選択肢を提供する
- パリ協定、昆明・モントリオール生物多様性枠組に基づく生物多様性世界目標、持続可能な開発目標及びその他の主要な国際開発目標を達成するために、生物多様性損失の根本原因の意味合いについて理解を深める
- 自然との共生という 2050 年ビジョンを達成するための経路を探る

## 査読者と対象読者

可能な限り高いレベルの正確性、信頼性、政策関連性を確保するために、IPBES 社会変革報告書は、科学者、意思決定者（政府を含む）、実践者、先住民と地域の知識保有者から提出された数千件の外部レビューコメントを通じて、オープンで透明性の高い外部レビュープロセスを通じて広範囲に査読されています。

社会変革評価報告書は、政府や企業のリーダー、市民社会団体、先住民と地域コミュニティなど、幅広い意思決定者を対象に作成されています。

## IPBES ポッドキャスト

本報告書の範囲、規模、重要性の詳細については、IPBES ポッドキャスト、Nature Insight の 4 つのシーズンから視聴できます。2024 年 11 月下旬以降、ポッドキャストから利用できます。

### 3 年間のスケジュール

2021 年 6 月	IPBES 加盟国の代表者で構成される IPBES 総会による、評価の仕様書である「 <a href="#">スコoping報告書</a> 」の承認。
2023 年 3 月	外部の専門家による各章の初稿を査読と、IPBES の専門家による査読コメントの反映（第 2 稿）。
2024 年 1 月	政府と専門家による、各章の第 2 稿と政策決定者向け要約の初稿を査読と、IPBES の専門家による査読コメントの反映（最終稿）。
2024 年 12 月	ナミビアのウイントフックで開催される#IPBES11 総会における、加盟国による政策決定者向け要約の最終稿の審議。その後、2024 年 12 月 18 日にメディア発表予定。

発表場所：#IPBES11、ナミビア・ウイントフック、2024年12月18日

報道関係者以外の方がニュース速報、最新発表、専門家募集などの情報を受け取るには、以下のリンクより IPBES ステークホルダーとしてご登録ください：[www.ipbes.net/stakeholders](http://www.ipbes.net/stakeholders)

## IPBES について

生物多様性及び生態系サービスに関する政府間科学-政策プラットフォーム（IPBES）は、約 150 カ国の加盟政府を擁し、意思決定者からの要請に応じて、生物多様性と自然の寄与の状態を評価し、さまざまな社会経済的選択に基づいて将来の選択肢を概説する国際機関です。

IPBES の使命は、生物多様性の保全と持続可能な利用、長期的な人間の幸福と持続可能な開発のために、科学を通じて政策と決定を支援することです。

IPBES 事務局は、ドイツ政府がホストし、同国ボンの国連キャンパス内に置かれています。IPBES の活動には、世界中の数千人の科学者が、ボランティアとして貢献しています。彼らは各国政府または組織から推薦され、IPBES 学際的専門家パネルによって選出されています。

「IPBES 花粉媒介評価報告書」（2016 年発表）は、80 カ国以上の 1,300 を超えるメディアを介して 18 言語で報道されました。

ニュースリリース：<http://bit.ly/2sq6gbQ>

「IPBES 地域評価報告書」と「土地劣化と再生に関するテーマ別評価報告書」（2017 年発表）は、124 カ国以上の 2,500 を超えるメディアを介して 37 言語で報道されました。

ニュースリリース：<http://bit.ly/2C0tnNu> および <http://bit.ly/2ylipyo>

「IPBES 地球規模評価報告書」（2019 年発表）は、170 カ国以上の 10,500 を超えるメディアを介して 50 言語で報道されました。

ニュースリリース：<http://bit.ly/GlobalAssessment>

「IPBES 野生種の持続可能な利用に関する報告書」と「IPBES 価値評価報告書」（2022 年発表）は、100 カ国以上の 1,800 を超えるさまざまなメディアを介して 36 言語で報道されました。

ニュースリリース：[https://bit.ly/IPBES\\_SUA](https://bit.ly/IPBES_SUA) および [https://bit.ly/IPBES\\_VA](https://bit.ly/IPBES_VA)

「IPBES 侵略的外来種評価報告書」（2023 年発表）は、105 カ国以上の 2,400 を超えるさまざまなメディアを介して 44 言語で報道されました。

ニュースリリース：<https://bit.ly/InvasiveMedia>

詳細に関するお問い合わせ先（英語）：[media@ipbes.net](mailto:media@ipbes.net) [www.ipbes.net](http://www.ipbes.net)

**IPBES のソーシャルメディアアカウント :**

[x.com/@IPBES](https://x.com/IPBES)

[facebook.com/IPBES](https://facebook.com/IPBES)

[youtube.com/ipbeschanel](https://youtube.com/ipbeschanel)

[linkedin.com/company/ipbes](https://linkedin.com/company/ipbes)

[instagram.com/ipbes\\_](https://instagram.com/ipbes_)

[threads.net/@ipbes\\_](https://threads.net/@ipbes_)

[bsky.app/profile/ipbes.bsky.social](https://bsky.app/profile/ipbes.bsky.social)

[mas.to/deck/@ipbes](https://mas.to/deck/@ipbes)